

# 読んでみよう 解いてみよう さん太のワークシート

新型コロナウイルスの影響が続く中で迎えた夏休み。岡山県内のレジャー施設などは、いろいろな工夫をしています。記事を読み、質問に答えましょう。

## 夏休みコロナ防止を

岡山県内のレジャー施設や商業施設が、夏休み中の家族連れを対象にした集客イベントの準備を進めている。新型コロナウイルスの感染予防のため、開催日程を分散

させたり、入場人数に制限を設けたりして3密（密閉、密集、密接）防止に配慮する施設が多い。学校の夏休みの短縮に対応する動きもある。

### 岡山県内レジャー施設など

「おかやまフォレストパーク ドイツの森」(赤磐市)は7、8月の週末を中心に花火大会を開く。盆期間の恒例行事だが、今年は日程を分散させて入場者の集中を防ぐ。ホテル・サントピア岡

おもちゃ王国(玉野市)は入り口で検温や消毒を行うほか、屋内型パビリオンの入場人数を制限するといった対策を取る。8、9月の週末などは、閉園後の駐車場を活用して「ドライブインシアター」(1台3500円)を開催。大型スクリーンに投影したアニメ映画などを車内で観賞してもらう。「コロナ禍でも子どもたちが3密を避けながら、安心して楽しめる企画を今後も考えたい」と担当者。



施設内の感染予防対策を掲示し、消毒や検温を行っておもちゃ王国の入場ゲート

山総社(総社市)は、人数抑え、入場前の検温と手洗いを徹底する。制限を設けてレジャーパークをオープンした。多くの学校で夏休みの度に利用できる人数を約半分の2200人程度にスタートが遅くなったのに対応するのは、ヒル

### イベント分散や人数制限

会場では過去の花火大会の映像を流すほか、「うらじゃ」の演舞も披露。担当者は「新型コロナウイルスの影響で祭りの中止が相次いでいる。少しでも夏の楽しさを感じてほしい」と話している。

このほか、山田みつばち農園(岡山県鏡野町)は蜂蜜の瓶詰め体験(1人1650円)を企画。蜂の生態を学びながら国内外の蜂蜜を食べ比べ、お気に入りを持ち帰ってもらう。イオンモール岡山(岡山市)は「haremachi 夏まつり」と題したイベントを8月1、2日に開く。綿菓子やポップコーンの屋台、風鈴に好きな模様を描くワークショップなどを用意して夏休み気分を盛り上げる。

ゼン高原センター・ジョイフルパーク(真庭市)。例年7月下旬から行っていた子ども向けのステージショーを、盆期間を中心に開催する。

短いけれど、楽しい夏休み！



7月22日付、山陽新聞朝刊地方経済面

Q1 ★★☆☆

新型コロナの感染防止のために、施設はどんな取り組みをしていますか。第2～4段落を読み、具体的に書き出しましょう。

Q2 ★★☆☆

夏休みが短くなったことに対応する取り組みをする施設もあります。第5段落を読み、どんな内容が答えましょう。

Q3 ★☆☆☆

新型コロナに気を付けながら、どんな夏休みを過ごしたいですか。家族や友達と話し合ってみましょう。

★の数は問題の難易度を表しています。